

■ 2015年3月期第3四半期決算説明会 質疑応答の要約

ユナイテッド株式会社

2015年2月4日(水)に開催した証券アナリスト・機関投資家向け決算説明会において、出席者の皆様からいただいた主なご質問と、当社の回答を以下にまとめております。

質問	回答
スマートフォンメディア事業について	
Q1 年間のアプリ開発計画は	<p>カジュアルゲームや人気コンテンツとのコラボアプリなども積極的に出していくので、来期は数10本程度は出すことになると思う。</p> <p>ただし、アプリの規模によって開発工数も変わるため、その時々 の社内リソースと開発状況によって前後する</p>
Q2 なぜ今、CHEERZのようなアイドル向けアプリを企画したのか	<p>社内の企画会議でたくさん出てくるアイデアの中から、リソース、優先順位等を考慮して、成功確率が高いものを開発するというスタンスの中で出たものであり、アイドルに絞ってやろうということではなかった</p>
Q3 CHEERZのDL数と課金率を教えてください	<p>ともに非開示。サービスの性質上、ニッチなユーザー中心に深く使いこんでもらうことを考えており、ダウンロード数よりもユーザーの定着率はじめ、全体的なユーザーの動きを見ながら改善を図っていくと考えている</p>
Q4 CHEERZ上でキャンペーンなどのユーザー活性化策は実施しているのか	<p>12月はユーザーランキング上位者へのアイドル写真プレゼントキャンペーン、1月は同じくランキング上位者にアイドル年賀状プレゼントを実施した。</p> <p>今後も随時キャンペーンなどを実施し、盛り上げていきたいと考えている</p>
RTB広告事業について	
Q5 RTBの市場予測に対しての実感は	<p>当社の事業領域であるスマホにおいては、決算説明資料P22に記載の市場予測を上回っている印象</p>
Q6 直近のRTB広告市場の状況をどう見ているか	<p>DSPでは大手広告主がスマホ広告に予算を投下しだしており、スマホ特化のDSPをもつ当社には有利な状況だと思っている</p>
Q7 SSPのメディア獲得策は	<p>当社の営業によるメディアのリクルーティングと、インバウンドによる獲得をおこなっており、AdStirの認知が高まってきている中で、双方がうまく回っている</p>

質問

回答

その他

Q8 3Qのファンド運用益はどのようなファンドで発生したのか

子会社のベンチャーユナイテッドが無限責任組合員として業務執行している持分法適用のファンドにおいて、出資先の上場に伴うキャピタルゲインが発生した

Q9 配当性向20%ということだが、今回のような投資における特別利益などが発生しても同じような考えか

連結配当性向20%という基準を変えることは考えていない